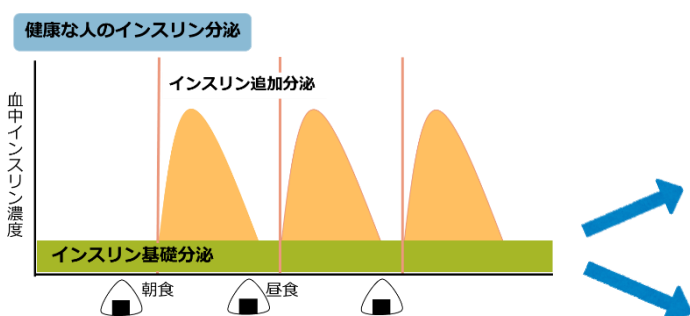
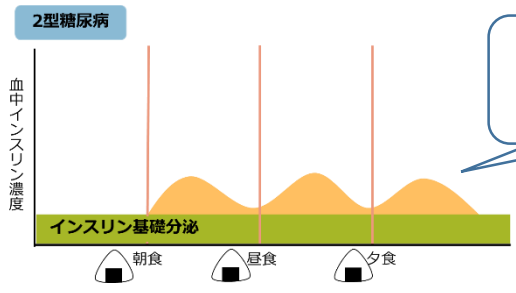




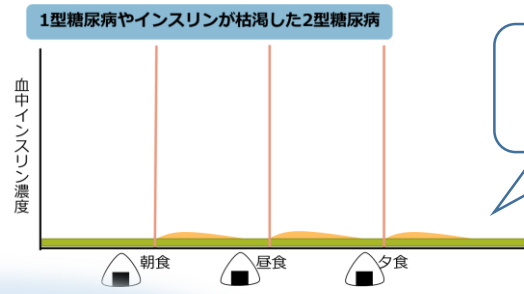
インスリン製剤の役割と種類



血糖値は膵臓から分泌される「インスリン」によって調整されています。
肝臓でのブドウ糖産生のバランスを保つ基礎分泌と、食事による血糖上昇に対して分泌される追加分泌の2パターンから成り立っています。



追加分泌の低下や遅れ

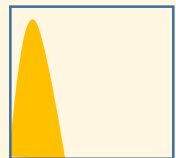


追加・基礎分泌ともに低下

インスリン製剤の役割は
崩れてしまった分泌パターンを補い、
正常な血糖値を維持することです

〈インスリン製剤〉

追加分泌を補う

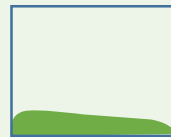


超速効型インスリン製剤
(ノボラピッド、ヒューマログ、アピドラなど)
作用発現時間は10~20分、
作用持続時間は3~5時間
食事の15分前~直前に投与



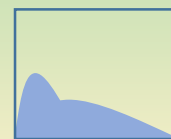
速効型インスリン製剤
(ヒューマリンR、ノボリンRなど)
作用発現時間は30分~1時間
作用持続時間は5~8時間
食事の30分前に投与

基礎分泌を補う



持効型溶解インスリン製剤
(トリーバ、グラルギン、ランタス、ランタスXRなど)
作用持続時間は24時間以上

追加+基礎分泌を補う



配合溶解インスリン製剤
(ライソデグ)
超速効型と持効型溶解を配合したインスリン製剤。注射回数を減らせるメリットがある一方、細やかな調整は難しい。

新規の超速効型インスリン製剤 (フィアスフ、ルムジェフ)

既存の超速効型インスリン製剤に添加剤を加えることで、皮下からの吸収を速め、インスリンを投与してから血糖値が下がり始めるまでの時間が速くなりました。

食事開始時(食事開始前の2分以内)に投与しますが、患者さんの状態や生活習慣によって、必要であれば食事開始後(食事開始から20分以内)の投与も可能であり、ライフスタイルに合わせた柔軟な投与タイミングの選択ができるようになりました。



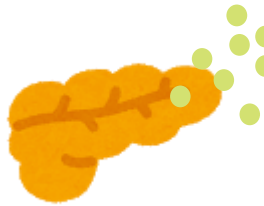
NEW

インスリンと GLP-1 受容体作動薬の配合注射製剤

持効型溶解インスリンと、GLP-1 受容体作動薬を固定比率で配合した製剤が発売されました。「インスリン療法が適応となる2型糖尿病」の方が適応になるお薬です。

GLP-1 受容体作動薬とは？

GLP-1 はインクレチンという食後に十二指腸や小腸から分泌されるホルモンのひとつです。



膵臓を刺激して、インスリン(血糖値を下げるホルモン)の分泌を促したり、グルカゴン(血糖値を上げるホルモン)を抑えることによって、血糖値を下げます。

胃の動きを抑えたり、脳に直接作用して食欲を抑える働きもあります。



インクレチンは血糖が高いときに作用するので、食後の高血糖を改善し、低血糖の心配が少ないことも特徴です※

(※他の糖尿病の薬と一緒に使用しているときは注意が必要です。)

インスリンと GLP-1 受容体作動薬のコラボにより、インスリンで空腹時血糖を下げ、GLP-1 受容体作動薬で食後血糖を下げるという2つの血糖改善作用を示します。インスリンには低血糖や体重増加、GLP-1 受容体作動薬には胃もたれ感や下痢などの消化器症状といった課題がありますが、両者の併用はこれらを軽減することが期待できます。



インスリン製剤の保管方法

インスリン製剤は、成分が変化すると効果がえられないことがあります。

温度の管理と遮光が大切です。

未使用時は、冷蔵庫内保管 使用開始後は、室温(30℃以下)に保管します。

① 凍らせないようにしましょう。

工夫: 冷蔵庫の冷却風をさけた場所に置きましょう。

寒い時は、外気にふれないようにタオルに包んで持ち歩きましょう。

② 直射日光をさけましょう。

工夫: 窓際に置かないようにしましょう。

③ 高温をさけましょう。

工夫: 車中に放置をしないようにしましょう。風通しのよいところに置きましょう。

持ち運ぶ時は保冷剤をハンカチやタオルで包み保冷バックに入れましょう。

④ 子どもやペットが届かないところに保管しましょう。

⑤ 飛行機では、手荷物用として機内に持ち込みましょう。



インスリンは消毒綿や注射針と一緒にポーチに入れて一緒に保管しましょう!

徳島県糖尿病協会・徳島大学病院糖尿病患者会「山桃の会」 入会のご案内

「山桃の会」は、徳島県糖尿病協会および徳島大学病院の糖尿病の患者会です。患者さんやそのご家族の方、医療従事者が入会できます。

糖尿病に関する情報提供を行い、会員の皆さまの知識向上とよりよい診療や療養指導の形成を目指しております。

本会にご入会していただきますと、患者会や糖尿病に関するイベントのご案内、月刊誌“さかえ”を毎月郵送いたします。

「山桃の会」の年会費は、3500 円です。

(主に日本糖尿病協会年会費、さかえ年間購読、郵送料込み)

*途中入会の場合は、上記を月割して、3月31日までの期間分を徴収させていただきます。

入会希望の方は、別紙入会申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。
入会申込書は、下記にご連絡ください。

「山桃の会」事務局
〒770-8503 徳島市蔵本町 3-18-15
徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター
TEL:088-633-7587 FAX:088-633-7589
Mail: dtrc@tokushima-u.ac.jp



毎月最新の糖尿病の情報が
特集・企画されています。
非常にわかりやすく書かれていて、
読みやすい1冊です。
新たな知識が増えます

歯周病は、 糖尿病の合併症の一つです

糖尿病があると
歯周病になりやすく重症化しやすい

歯周病は
糖尿病に影響を及ぼす

→糖尿病があると、免疫機能の低下や血流の悪化、唾液の減少などのため、歯周組織の厚さが生じて歯周病になりやすく、また、重症化しやすいことが分かっています。

→歯周病はインスリン作用を阻害し、血糖コントロールを悪化させます。歯周病を治療すると、HbA1c値が最大1%改善するという報告もあります。

歯周病やむし歯は、糖尿病以外にも肥満、肺炎、睡眠時無呼吸症候群、心内膜炎、腎炎、歯血症、敗血症、腎臓障害、栄養障害などさまざまな疾患の原因になるといわれています。
お口を健康な状態に保つことは、全身の健康に関わる大切なことなのです。

お口の健康セルフチェックシート

【生活習慣】	【お口の様子から】
<input type="checkbox"/> 1 歯磨きをあまりしない	<input type="checkbox"/> 1 いつもお口の中がさわやかだと感じる
<input type="checkbox"/> 2 スムースを多く摂取している	<input type="checkbox"/> 2 歯肉の色がピンク色で引締まっている
<input type="checkbox"/> 3 たばこを吸わない	<input type="checkbox"/> 3 歯のぐらつきがなく、しっかりかめる
<input type="checkbox"/> 4 歯垢をしない	<input type="checkbox"/> 4 歯と歯の間に物が挟まらない
<input type="checkbox"/> 5 1日1回は歯磨きをかけて歯磨きをしている	<input type="checkbox"/> 5 歯がしみたり、痛まない
<input type="checkbox"/> 6 フッ化物入りの歯磨き剤を使っている	

(5歳以上にのみ該当する人)
このチェックシートは生活習慣で構成されています。
(3-4歳にのみ該当する人)
一つでもお守りしましょう。
(10-12歳にのみ該当する人)
すぐに生活習慣を見直しましょう。

全ての項目に該当する場合は、お口の専門家にご相談ください。

1週間に1回はお口の健康状態を自分で観察し、
定期的に歯科を受診しましょう!